



アメリカ外交政策極秘文書シリーズ Web版

Digital National Security Archive

イラクへの攻撃・1

計画・侵攻・占領、1997年～2004年

Targeting Iraq, Part 1: Planning, Invasion, and Occupation, 1997-2004



イラク戦争開戦に至るアメリカ政府内部の議論を明らかにする、旧・機密文書のコレクションです。1997年からイラク暫定政権発足前後の2004年半ばまでの間に、国務・国防両省をはじめとするアメリカ政府機関で作成された対イラク政策に関する政府文書2,141点を収録します。その多くが近年新たに機密解除されたものです。

クリントン、ブッシュ両政権において、サダム・フセインの打倒がアメリカの公式な政策となった経緯や、国内外からイラク侵攻の支持を得るために政府内でなされた議論、2003年3月のイラク戦争開戦と、それから18か月に及ぶアメリカのイラク占領と統治に関する情報を提供します。

当コレクションには未加工の諜報レポートから一般公開のために用意された文書まで幅広い資料を収録しており、ホワイトハウスがイラク侵攻を正当化するために恣意的に証拠を取捨選択し、世論を開戦へと誘導する政治的キャンペーンに利用した経緯を分析することができます。イラクとアメリカの双方に悲惨な結果をもたらし、地域に未だに終わりの見えない情勢不安と暴力の連鎖を引き起こすに至った現代アメリカ史上最悪の対外政策ともつばら評価されるイラク戦争に関する、新たな資料を提供するコレクションです。

【アメリカ外交政策極秘文書シリーズについて】

アメリカの非営利団体The National Security Archive(NSA)が情報公開法に基づいて体系的に公開請求・収集した、国家安全保障に関する一次文献をWeb上で提供するデータベースです。アメリカの機密解除文書をもっとも包括的に収録しており、政府機関が内外へむけて作成したさまざまな文書—最高機密の大統領指令、極秘電報、極秘メモ、諜報レポート、国家機密扱いの会議録、削除をまぬがれたe-mailメッセージ、さらにアメリカ以外の国の公文書などを収録しています。収録資料の多くが、当シリーズによって初めて刊行されるものです。(日本販売総代理店:紀伊國屋書店)

デジタル情報営業部

紀伊國屋書店

Tel 03-6910-0518

Email online@kinokuniya.co.jp

北海道営業部 (011)251-7841
弘前営業所 (0172)36-3755
仙台営業所 (022)227-0301
千葉営業所 (043)296-0188
水戸営業所 (029)227-2461
さいたま営業所 (048)822-0775

宇都宮営業所 (028)333-1910
首都西営業部 (042)656-6620
東京・第1 (03)6741-9897
東京・第2 (03)6910-0522
東京・第3 (03)6910-0523
東京・官公庁 (03)6910-0525

東京・コーポレート(03)6837-1100
成蹊学園BC (0422)36-0360
横浜営業部 (045)476-0761
湘南営業部 (046)235-0010
静岡営業部 (054)253-3015
東海大BC (0463)50-1250

中部営業部 (052)265-0161
大阪第1 (06)6843-0161
大阪第2 (06)6843-0161
京都営業部 (075)221-3310
金沢営業部 (076)231-6210
岡山営業所 (086)222-7312

広島営業所 (082)249-2199
松山営業所 (089)933-2410
福岡営業所 (092)437-5353
熊本営業所 (096)322-5666
鹿児島営業所 (099)223-4519
沖縄営業所 (098)887-3678

Digital National Security Archive 関連コレクションのご紹介

全49コレクション刊行中。詳細資料は別途ご請求ください。

イラクゲート：フセイン、アメリカ外交政策と湾岸戦争の前兆 1980年-1994年

Iraqgate: Saddam Hussein, U.S. Policy and the Prelude to the Persian Gulf War, 1980-1994

アメリカ・イラクの蜜月時代から湾岸戦争へ、経済支援と武器保有

レーガン・ブッシュ政権期の対イラク政策に関する、ホワイトハウス及び政府機関の文書を約1,900点・10,000頁収録するコレクションです。

湾岸戦争以前の親イラク政策と、イラクゲート疑惑、フセイン政権の大量破壊兵器の保有疑惑とそれに対する政府の反応などに関する資料を提供します。

アメリカがフセインと協力関係にあった80年代における、イラクゲート疑惑を含むアメリカとイラクの経済関係に焦点をあてます。また、イラクにおける大量破壊兵器開発計画に関する多くの情報が、外交政策や商業的利益の追求のために国務省をはじめとする政府機関によって却下されてきたことも明らかにします。

※イラクゲート…アメリカによる農業分野への支援金をイラクが武器購入に流用し、ホワイトハウスがそれを承知しながらも湾岸戦争直前まで引き続きイラクに資金を提供していたとされる疑惑。

イラン：1977年-1980年

Iran: The Making of U.S. Policy, 1977-1980

イラン革命とアメリカ外交政策上の危機に関する第一級の一次資料を約3,000点・12,000頁収録。カーター政権とイラン国王の初期の関係から動乱・革命とバザルガン臨時政府への移行、1979年のアメリカ大使館占拠・外交官人質監禁事件、アメリカ政府の最終決断とホメイニ氏の登場まで、相次ぐ事件の日々の記録。その背景に潜む政治的・宗教的イデオロギーを理解する上でも重要な役割を果たす、非常に研究価値の高い資料群です。アメリカ(国務省・国防総省・ホワイトハウス・CIA等)とイラン(国王派・ホメイニ派)双方に関して、バランスのとれた中立的な情報収集がなされています。

イラン・コントラ事件：1983年-1988年

Iran-Contra Affair: The Making of Scandal, 1983-1988

1980年代なかば、アメリカ国家安全保障会議が秘密裏にイランに武器を輸出し、さらにその代金をニカラグアの反政府右派ゲリラ「コントラ」への援助に流用していたイラン・コントラ事件に関する貴重な一次資料を収録します。ホワイトハウス、CIAなどの政府機関及び民間から、4,000点以上・20,000頁の内部メモ、通信文、声明、裁判記録、諜報レポート等を収集・提供します。

イラン及びコントラ支援に関与した機関・個人の地下潜伏と秘密工作の過程、これら2つの秘密工作を結びつけたアメリカ政府の対イスラエル戦略、1986年、アメリカ政府高官のイラン秘密訪問発覚から、その後の告発・裁判の過程まで、事件の全容を明らかにします。

契約方式

- ◆ **恒久アクセスライセンス** (Perpetual Access License) 契約：コレクション毎のご購入となります。※購入時に発生する買い切り価格のほか、1年目より毎年、サービス維持料金がかかります。
- ◆ **年間購読** (Annual Subscription) 契約：既刊の全コレクションをご利用いただけます。いずれも同時アクセス数は無制限です。◀1ヶ月間の無料トライアルが可能です。最寄の営業部/所までお問い合わせください。▶